

富山大学・和漢医薬学総合研究所年報 32 巻 2005 年

Annual Report of Institute of Natural Medicine
University of Toyama. Vol. 32, 2005

目次

巻頭言	1
-----	---

研究所の使命	2
--------	---

研究所の概要	3
--------	---

総 説

1. 和漢医薬学総合研究所の過去・現在・未来	服部征雄	6
2. Thai Traditional Medicine: An Overview and Overtones	Varima Wongpanich	13

各部門・附属センターの活動と業績

資源開発部門	生薬資源科学分野	27
	化学応用分野	35
	薬物代謝工学分野	45
病態制御部門	複合薬物薬理学分野	51
	病態生化学分野	59
	消化管生理学分野	73
臨床利用部門	臨床利用分野	76
	恒常性機能解析分野(客員)	83
漢方診断学部門(寄付)		90
和漢薬製剤開発部門(寄付)		104
附属民族薬物研究センター		
	薬効解析部	112
	外国人客員部	123
	国際共同研究部	124
	民族薬物資料館	126

研究所の活動記録

2005 年の活動記録	128
研究所主催のセミナー・シンポジウム・公開講座など	
第 26 回和漢薬研究所特別セミナー	130
第 10 回国際伝統医薬シンポジウム・富山	131
第 10 回和漢薬研究所夏期セミナー	133
民族薬物資料館一般公開	134
部局間学術交流協定	135
21 世紀 COE プログラム	136
新聞記事コピー	137

表紙の写真

マオウ科の *Ephedra sinica* Stapf, 麻黄, (-)-ephedrine, (+)-pseudoephedrine
(モンゴル国ドルノド県にて, 2004年7月20日, 小松かつ子撮影)

麻黄は発汗, 解熱, 鎮咳, 鎮痛薬として, 葛根湯, 小青龍湯などに配合される重要な漢薬です。現在中国では, 国土の保全政策(砂漠化防止)の一環として, 全形品の麻黄の輸出を禁止しています。今後の麻黄の供給不足を懸念して, 中国産麻黄と同等の品質を有する *Ephedra* 属植物をモンゴル国で探索し, 科学的評価研究を行っています。